松川遊覧船 華やかにオープン!!

4月1日(金)

一番乗りの幼稚園児

挨拶する中村社長

祝辞を述べる金尾副会頭

テープカット
右から大谷氏・金尾氏・中村社長・小俣氏・堀田氏

とやまの新観光名勝"松川遊覧船"がオープン!!

4月1日。前日までの悪天候が嘘のように晴れわたり、朝からやわらかい陽射しの降りそそぐ、穏やかな日となった。

城址公園内松川べりに設けられた、遊覧船乗船場付近には、式典用のテントが設営され、すぐ横では藤園女子高校のブラスバンド部員が開会前の練習に余念がない。

松川丸、滝廉太郎丸、舟橋丸、富山城丸、荒城の月丸。5叟の舟が春陽に輝く松川をゆるやかにすべってくる。それぞれ表情の違う船が、この日を待ち望んでいた。

午前10時、司会の高瀬桂子さんの開会宣言と共にファンファーレが鳴り響いた。いよいよ、松川遊覧船のオープンである。

富山観光遊覧船㈱社長中村孝一氏が、「水の都富山を観光名勝のひとつにしていきたい」と挨拶。続いて商工会議所副会頭の金尾力松氏が、「富山が誇る立山連峰の背後景観を十二分に生かした魅力ある観光事業としての松川遊覧船に心より期待する」と会頭馬瀬清亮氏の祝辞を披露した。また、衆議院議員綿貫民輔氏、富山県知事中沖豊氏、富山県観光連盟会長馬瀬清亮氏、富山第一ホテル社長笹山梅治氏、北日本新聞社長深山栄氏より電報が届き、遊覧船のスタートを祝福するメッセージが読みあげられた。

続いて、富山県観光連盟事務局長森谷義一氏、富山市商工労働部観光課主幹小俣浩氏、富山商工会議所副会頭金尾力松氏、日本交通公社富山支店長堀田晃令氏、富山観光遊覧船㈱社長中村孝一氏によりテープカットが行われると同時に行進曲「錨を上げて」が演奏され、セレモニーを盛り上げた。

ミス織姫益山めぐみさん、ミスおらっちゃ祭り中福和恵さんにより、船頭さんの代表として、藤田清五郎さん、布村幸作さんに「安全に気をつけて頑張ってください」と花束が贈呈された。さっそく松川遊覧船第1号船には、紅葉ヶ丘幼稚園の園児20人が保母さんと一緒に乗りこんだ。園児らは、瞳を輝かせて川の中の鯉を指さし、あるいは小旗をふって橋から見下ろす見物客たちを喜ばせた。同時に彫刻プロムナードに沿って、和会（代表家城和歌子さん）の方々100名によっておわらが披露され、趣きを添えた。

揃いの紫の法被姿の船頭たちが自在に竿を操り、春の松川を行き交う舟に、次々と人々が乗りこんでいった。いつも見慣れた松川に一歩足を踏み入れる、その好奇心と期待に胸をふくらませ、乗船場へ降りていく人々。小さな子どもの手をひく人、自転車でお使いに行く途中の人、犬の散歩にでてきた人…いつもの松川に舟が走るのを見つめる瞳があった。

「とてもさわやかだったね」「桜が咲いたら素敵だろうね」「雪見舟にも乗ってみたい」口々に言いながら舟からあがってくる人々の表情に満足感があった。

こうして、松川観光遊覧船はスタートした。春は美しい桜並木のトンネルをくぐり、夏にはひとときの涼を求め、秋には紅葉を楽しむことができる。全国でも例をみない市街の中のオアシス・松川、水の都富山のシンボルとして、多くの人々を楽しませていくことだろう。CL